

優良農地の保全活動の推進

うしくぼようすいみずとみどりのかい

9.牛久保用水水と緑の会（神奈川県厚木市）

- 本地区は、中津川の水資源に恵まれ、開削700年と伝わる用水路を維持し良質な米と野菜を生産している。今後とも農業振興を図るためには、この用水路を保全管理することが必要である。
- 耕作者を中心に農業用排水路の堀ざらいや清掃、草刈りを行い、優良農地の保全を図る。

都市的地域

【地区概要】

- ・取組面積 9.65ha
(田 9.26ha、畑 0.39ha)
- ・資源量 開水路3.33km、暗渠1.403km
排水路0.368km、農道3.023km
- ・主な構成員
農業者、非農業者

農地維持
支払

資源向上
支払
(共同)

資源向上
支払
(長寿命化)

活動開始前の状況や課題

○活動開始前から水利組合が集落ごとに分担して各地区における水路の泥上げ、法面や農道、水路敷の草刈、水路施設の維持管理作業を担っていたが、役員への負担が大きく、作業に伴う費用不足も生じていた。

○各戸が所有する田が少なく（1反未満から3反程度）耕作を中止することもままあった。引き受け手があるものの将来を見通せない状況。



延享二年の刻みがある石樋

取組内容



令和6年5月沈砂池の泥上げ

○主に水路の泥上げや路肩等の一斉草刈、清掃を実施。また、水門や堰等の農業用水利施設の点検や整備、清掃も実施。

○共同作業を通じて交流が深まった。

○水利組合の役員が各戸を回る時に意見聴取や作付け意向を聞き耕作放棄が起きないようにする。

取組の効果

○今まで資金が無く、実施を躊躇していた農業水利施設の維持管理作業（蓋つき水路の泥上げ）を実施できるようになった。

○農業者だけでなく、地域の住民の参加者があり、維持管理に対する理解や相互の交流の場となった。

○一斉草刈りで意識が高まり畦畔の草刈りやカメムシ被害の軽減につながった。

○休耕田の作付けが始まった。



平成31年2月蓋つき水路の泥上げ